



2024
Spring

自然栽培パーティ新聞

はいさーい！
冬からはじめる、
春のブチアゲ準備号



@楽ワーク福祉作業所

全国のパーティの活動

特別インタビュー 半農半歌手Yaeさん
教えて松浦さん！固定種のススメ

Shizen Saibai in Full Bloom / 七転八起

能登半島地震のご報告

お知らせ

全国のパーティの活動



北海道から沖縄まで、全国各地に仲間がいる自然栽培パーティ！
「パーティ」には「仲間」という意味もあります。
各会員が日々農業に励んだり、仲間同士でつながったり、加工や販売を協力したりと、
ちょっとずつ広がっているパーティの輪。そんな全国の仲間たちの活動を紹介します！

★畑でかがやく農福師★

長崎県出身で20年ほど前に憧れの沖縄へ移住。夏の暑さは厳しいですが楽しく過ごすことが出来ているようです。沖縄は本土と違って年明けからも葉野菜やスナップエンドウ、トマト、ニンジン、じゃがいも、玉ねぎなどたくさんの野菜が収穫できるのでビックリ！

これまで農作業の経験はなかったようですが、持ち前の好奇心で様々な仕事にチャレンジしています。

自然栽培なので除草や虫取り作業に追われていますが、周りのメンバーさんへ声を掛けるなどの配慮もできる優しさを持ち合わせています。

「これからも仕事を続けて自然栽培についての知識を深めていきたいです！」と意気込みを頂きました☆

すぎもと
かつき
杉本勝樹さん

楽ワーク福祉作業所

自然栽培パーティ感謝祭 沖縄

EMホテルでマルシェ & 映画上映会

2/24に沖縄県北中城村にある「EMウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾート」で、感謝祭が行われました。沖縄県の人気店舗なども含めて、45店舗が出店し、たくさんのお客さんが来場してくれました。映画上映会も大好評で、

農福連携を知らない方、パーティを知らない方にも活動を知ってもらう機会になりました。



能登半島募金&支援

1/1に発生した令和6年能登半島地震に対して、自然栽培パーティとして募金を行いました。また、現地ではハーブ農園PAYSANを中心に物資の輸送などの支援や、全国から自然栽培パーティの野菜を送る活動を行いました。

・・・→詳細は7pへ



今年のフォーラムは 11/23 鹿児島で！

みんなが楽しみにしている、自然栽培パーティ全国フォーラム。今年には11/23に鹿児島県での開催が決定しました！詳しい場所・時間は決まり次第発表します！

表紙の施設 楽ワーク福祉作業所

少しずつ畑を自然栽培に切り替えている楽ワーク。ご縁があって、近くにある数十年自然栽培をしてきた方の広大な果樹園を無償で30年借りることに！2月に30度を記録した沖縄では、冬だけ春に向けて全力で準備中だそうです！

畑でかがやく農福師

寒い日も暑い日も毎日のように畑作業をしていく彼は、本当に根気よく動いてくれます。畑、参加率れいんぼうナンバー1。言葉は話せませんが、表情と身振り手振りでする気を示してくれます。

ある秋の日、ピーマンやナスの枯れた株の片付けをするために職員と他のメンバーがせっせと畝から引っこ抜いていたところ、彼は別の場所でいつもの草取り作業をしていました。しばらくすると誰も声をかけていないのに側に寄ってきてくれ、自ら引っこ抜き始めてくれました。しかも笑顔で。彼の中で自分もやりたい、やろうと心が動いた瞬間に立ち会えて、こんな嬉しいことはないですね。これからも頼りにしています。いっしょにがんばりましょう！



つねかわともき
恒川知暉さん
れいんぼうワークス

みんなの畑プロジェクト始まりました！

自然栽培パーティのみんなで耕し、育て、販売する農場を作れないか？そんなところから始まった「自然栽培パーティみんなの畑」プロジェクト。とあさ村の一角でおこなうことが決定しました！みなさんも一緒に畑を耕し、様々なノウハウを共有しませんか？募集は別紙を参照してください。

菌ちゃん先生 & 自然栽培パーティ講演会

愛知

2/27に愛知県で、菌ちゃん先生および、自然栽培パーティのおもや杉田さん、たがやす天野さんによる講演会が開催されました。

(※本事業は令和5年度愛知県農福連携工賃向上推進事業として実施しました)
菌ちゃん先生のお話はパワフルで、聞いているだけで元気が出る！とても分かりやすく、なぜ無農薬でも虫が来ないのかを分かりやすく説明してくれていて、研修に参加された方もやる気になった人が多そうでした。

天野さんのお話も全国の農福連携の事例が知れたり、杉田さんの話も楽しそうなことをやっていたら、どんどん地域や人とつながっていく話も参考になりました。



醤油づくり大作戦 始動！

愛知・滋賀・長野

各地で作った大豆とお米でお醤油を仕込んで絞るワークショップを開催する「醤油づくり大作戦」が、3か所で実施されました！4日間のうち、ワークショップは麴を発酵させる1日目と醤油を仕込む4日目に実施。多くの人に参加してもらい、美味しくなるようにおまじないをかけながら、みんなで一緒に仕込みました。これから天地返しをしながら各事業所で管理して、約1年後に絞る予定！どんな味になるか、楽しみです！



半農半歌手という生き方



半農半歌手

Yae
さん

東京生まれ。故藤本敏夫・歌手加藤登紀子の次女。2001年歌手デビュー。存在感あふれる「声」で各地にファンを和を広げ、NHKみんなのうたや人気ゲームソフト、ウォルトディズニースタートアップ110周年記念作品「ディズニースタートアップ」の主題歌を歌唱。現在は、「三児の母」となり、家族とともに自然豊かな里山「鴨川自然王国」で、農を取り入れたスローライフを送り、ラジオのパーソナリティも務めながら全国各地でライブ活動を行っている。

—Yaeさんの幼少期について教えてください。

生まれは東京のど真ん中の、新宿御苑のすぐ裏あたりで、自然に触れるにはお金が必要な場所で育ちました。学校の校庭も土ではなくてゴム。自然に対する憧れが強かったみたいで、ある時母が「うちの庭よ」と高尾山に連れて行ってくれたのを覚えています。

父親に「ふるさとが欲しいか」と聞かれて、「欲しい!」と答えて連れていってもらったのが、現在夫と子供たちと暮らす鴨川自然王国です。父が1981年に仲間たちと共に山の上のこの土地を買い、コンクリートも自分たちで打って道を作るところからスタートしました。

とはいえ、母は東京を拠点に歌手活動をしていたので、子どもの頃はそこに住むことはなく、私達姉妹は夏休みに過ごすという感じでした。

地元の人たちと柑橘を作り、その木の下に300羽の鶏が走り回っていました。小学5年生の私は、餌バケツに向かって突進してくる300羽の鶏を蹴散らしながらなんとか餌やりをしたり、卵を拾って磨いて出荷する手伝いをしていました。楽しかったですね。

父はと言うと、それよりも10年前の1975年に「大地を守る会」を創設し、最初は有機農家さんに分けてもらった野菜をリヤカーに載せて、団地で販売を行うことからスタートしました。ちなみに「大地を守る会」は現在オーガニックの食材の宅配事業をおこなう会社です。

講演会などでも忙しく、土日以外は外に出ていることも多かった父。それでもいつか農業をしながら家族や仲間と暮らす理想の村を作りたいと、病院や学校や風車のあるスケッチがたくさん出てきました。

—現在はどのような暮らしをされていますか？

2001年に歌手デビューし、歌手活動をしていましたが、やはり自然の中での暮らしに憧れて、2004年に鴨川に移住しました。父はすでに亡くなっていたので、私が移住した時の鴨川自然王国は地元の方が管理をしていてくれました。

今は半農半歌手として、日々農ある暮らしの中でほぼ自給自足しながら、全国で歌手活動をしています。今の時期だと、土手の草刈りや踏み込み温床づくりをしていますね。春からは田んぼも始まって大忙し。冬は冬で罫猟をしています。農作業をしながら眺めた自分たちの畑

の風景から新しい曲ができたりもします。

近所に越してきた移住者の中には、野草料理教室をする方もいて、一緒に山に採取に行ったりもします。「子どもの王国」というイベントを企画して、子供たちと山に行き山菜を採ってきて天ぷらにしたりするイベントもしました。私自身、子どもの時に経験した自然の中での音や匂いがとても貴重だったので、次の世代の子ども達に対しても、そんな経験ができる場所にしたいと思っています。「ここには時間と空間がある。」父がそんな風に言っていたのですが、誰もがのびのびと過ごせる、そういう場所づくりを作りたいです。

ほかにも鴨川自然王国の中でcafé Enというカフェで自家製のお野菜たっぷりのランチを提供しているほか、一棟貸しの古民家宿もやっています。

—自然栽培パーティのみなさんへ

自然栽培パーティの映画も見させてもらいましたが、内容も歌もとても良かったです。現在夫と二人で農事組合法人としてやっていますので、今度近所の福祉施設に何か作業を一緒にできないか一度声かけてみようかな。

障害をお持ちの方や子供って「楽しいこと」に敏感な気がします。私は何事も楽しくなきゃ成功しないと思っています。「それって楽しい?」と常に自分に問いながら、楽しいを基軸にしています。

そういう意味でもパーティが楽しさを大事にしていることは、とってもいいと思います。これからも頑張ってくださいね!

café En



10/13に収穫祭を行う予定です。どなたでもご参加できますので、ぜひInstagramから情報をチェックしてくださいね。



2/24の沖縄での感謝祭で、歌を披露していただきました!

固定種のススメ



松浦智紀さん

サン・スマイル代表
自然栽培パーティ 理事/品質管理担当

最近は何も気にせず、種を購入するとほとんどがF1の種。しかもF1雄性不稔が、とても増えています。自然栽培の場合、「F1にしようか固定種にしようか…」まずそこから悩む方も多いのではないのでしょうか？F1は悪で、固定種は善。という風潮も感じられる時もありますけれども、そう簡単ではないのが種の世界です。かなり乱暴な例えですが乗用車（固定種）とスポーツカー（F1）どちらがいい？というような話です。



どちらがよいとは用途などによっても変わりますよね。F1と固定種の良い点等を整理してみましょう！（あくまで一般論です）

F1

良い点

- 生育が揃う
- 形が揃う（規格箱に入り大量物流に向く）
- 生育が早く、早く収穫できる（雑種強勢）
- 畑を有効に（期間を定められる）使える
- 耐病性をつけやすい

ネガティブな点

- 食味が悪い（育種目標の重要性が低い）
- 多様性がないため気候変動で全滅の憂いがある
- 毎年種を購入しなければならない
- 雄性不稔種の心配

固定種

良い点

- 食味が良い
- 自家採種できる
- 多様性・環境適応力がある
（最大公約数：地域によって発露する遺伝子が多い）
- 長期収穫できる
- 高い耐病性を持つ個体がある
- その地になじんだ種に変化固定しやすい

衰退した理由

- 形がそろわない
- 生育が遅い
- 大根→スが入りやすい
- 大量生産に向かない
- 食味が悪いものもある
- 病気に弱いものがある

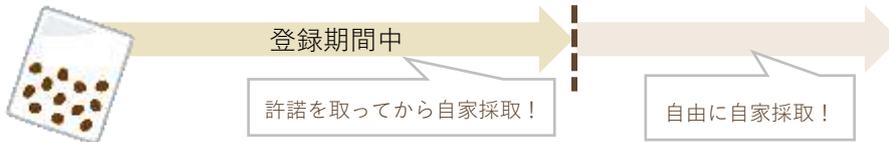
さあどうでしょう？どちらを使いたいですか？生産の現場からの特徴としてはF1は大量生産に向いている。固定種は自家採種していける。というところでしょうか。

私はやはり固定種が好きです。消費者の立場から言えば何ととってもおいしいから！



固定種を自家採取するには

自家採種は品種登録期間が過ぎたものを選ぶことが必要です（登録期間中であれば許諾を受ける必要があります）。



この品種は登録期間中なのかしら？という時は
農林水産省
品種登録データ検索

すこし使いづらい…(笑)

ひとつ面白い写真を披露します。同じ固定種の真黒ナス（埼玉県の固定種ナスで、千両ナスの親）を数年自家採種した後の姿です。

農園A 一つの花芽から多くのナスを採りたいので、花芽の多い株から自家採種。

農園B 一つの花芽から一つのナスを採りたいので、花芽が一つの株から自家採種。

普通、交配でもしない限り、このようなことは起こらないというのは育種の常識ですが、実際に変化が起こっています。種採りをする方のセンスや思い、そしてその地にも徐々に合ってくるのが目に見えてとても面白い。

農園A



農園B



同じ固定種：真黒ナス
自家採種を数年するだけでこんなに変わる。

自家採種は3年程度でやめてしまう方が多いように感じます。それはとてももったいない！最低5年、出来たら10年程度するとほんとに毎年変わってその地に馴染んできますから、ぜひ固定種の自家採種にチャレンジ&継続されることをお勧めします！種代タダですし！

そして、自然栽培×固定種=びっくりするほどおいしい！お野菜で多くの方に喜んでいただきましょう！

Shizen Saibai in Full Bloom

----- サキと外国語で耕す世界の畑 -----



サキ・モリタ オランダの大学で農業を学び、現在は熊谷を拠点に発酵や執筆に携わる。最近トマト帽を被った「とまちえ」として、こども向けのプロジェクトにも関わり始めた



今枝さん 自然栽培歴12年目のパーティの栽培リーダー。最近キャベツ帽に黒縁メガネをかけ、「キャベツさん」のキャラ設定に熱を注いでいる。

サキさん、「美味しい」ってオランダの方に伝えたいとき、なんて言えばいいの？

一番よく使うのは、「**lekker (レッカー)**」ですかね。食べ物を指さして“lekker!”と言うだけで伝わりますよ。しかも“lekker”は最強で、天気の良いときとか、良く眠れたときとかにも使います (笑)

へえ。他にも美味しさの表現、あるのかな？

「**Heerlijk (ヒアリック)**」も良く聞きますね！

発音が難しいな (汗)

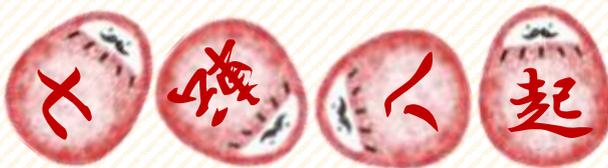
そうですね (汗) でも面白いのが、ほぼ同じ綴り・発音で「**eerlijk (イアリック)**」が「**真実**」「**本物**」というような意味なんです。

野菜本来の美味しさ！まさに自然栽培だね！

確かに！そんな自然栽培の美味しさ、海外に伝えていきたいですね。

やるかー！

日本発祥である自然栽培を海外に広めていきましょう！



自然栽培
七転び八起き

たまねぎ栽培と秘密道具



茨城県のみめの木農園です。みめの木では、昨年ヤマト福祉財団のたまねぎ塾に参加して、たまねぎの栽培にチャレンジしています。群馬県の菜の花で教わった通りに夏から苗床の準備をして、発芽も順調でいい感じに生育しているように思いましたが、途中から苗の伸びが悪くなりました。原因は、日当たりの悪さ。夏は太陽の角度が高く気が付かなかったのですが、秋になり日が低くなると隣にある林の陰になり、朝9時ごろまで日陰になっていました。(10月中旬)

たまねぎの苗床から5メートル程しか離れていないニンジンの圃場は生育が順調で、こちらは日陰になっていない様子。2カ所の圃場の温度を「ある温度計」で計測すると、朝の気温の立ち上がりから大きく差が出て、そのまま最高気温も3°C近くの差があることが分かりました。日当たりが悪いのは朝の少しの時間と侮っていましたが、実際に計測し数値化することで、明確な違いがあることがわかり、さらにこれが毎日積み重なることで生育に大きな影響を与えていることを理解することができました。圃場選びの重要性を実感したと共に、この温度計の威力を思い知らされました。



この温度計とは、栽培リーダーの今枝さんおすすめの「SwitchBot」という秘密道具です！

この温度計は、温度と湿度をなんと1分毎に測定し1か月以上もデータを記録することができます。またスマホのアプリと連動して数値の変化をグラフで確認したり、記録したデータを吸い上げる事も可能。これを圃場に設置しておけば、温度の記録もラクラク。そしてこんな高機能にも関わらず、お値段がなんと2,000円程度で購入できます！！

みめの木では、植木鉢の受け皿を逆さまに重ねた簡易百葉箱を自作し、圃場の数カ所に設置しています。

たまねぎは小さい苗になってしまいましたが、小淵塾長とも相談して、定植後に不織布トンネルをかけることで小さいながらも活着し、なんとかがんばってくれています。結果をしっかり分析し、次に活かして、より良いものをつくっていきたいです。(みめの木石崎)



能登半島地震のご報告

2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震。自然栽培パーティにはたくさんの仲間がいますが、幸いにもメンバーやその関係者は無事でした。

発生当時、道路状況的に一般のボランティアの受け入れができない中で、北陸のメンバーが結束して物資の届かない福祉施設を中心に、物資の輸送を行いました。必要な物資のニーズも日々変化しているため、自然栽培パーティでは現地メンバーが購入する物資の費用、ガソリン代などのために支援金の募金を行いました。

1月13日で100名以上の方から金額合計2,543,200円の支援金が集まりましたので、費用の報告と共に、現地の様子を報告してもらいます。

物資輸送回数 約30回（1月～2月）

物資輸送施設 合計20施設以上

費用内訳 支援物資購入費用：228万円
燃料（軽油・灯油）：10万円
ガソリン/レンタカー：16万円

野菜の提供 自然栽培パーティとして、募金とは別途野菜を4回提供しました。



レポーター

れいんぼうワークス 田中雅樹さん

私の実家が石川県輪島市ということで令和6年能登半島地震の支援物資輸送活動の報告をさせていただきます。

1月1日今年はずっと帰省せず、愛知の自宅にいたところ強く長い揺れを感じ、震源が能登！実家への電話も全く繋がらない状態に。その日の夜パーティの石川チーム、ペザン澤邊さんとつばさ今井さんが無事であるということだけは確認できました。まずは情報を集めながら、施設に備蓄してあった非常食、毛布、発電機などを積んで3日に石川へ向かいました。



現地で澤邊さん今井さんと合流！互いの状況を確認しました。その後、災害支援NPO代表の方とお会いして珠洲市の被害状況と能登全体がかなりの悪路で移動にかなり時間がかかってしまうことが分かってきました。ちょうどその時、理事長の磯部さんが連絡をして下さり、輪島市と羽咋市に障害・高齢者福祉事業

所を運営されている（社福）弘和会さんが自然栽培パーティの元メンバーで、どんな支援活動をしていけば良いのか情報が得られるのではないかと提案して下さいました。今井さんの案内で弘和会さんの羽咋市本部へ。支援物資を運ぶ人手が足りないということで、物資輸送活動に協力することが始まりました。障がいのある方、高齢者の方などが避難してみえる福祉避難所へ届けるのが第一目標。全国からの支援物資を一つの施設に集めると対応が難しいため、三拠点に分けて集め、中継地点をつくりリレー運搬して行きました。施設に物資が行き渡ると近隣住民や地域コミュニティにも物資が行き届きます。

初期はとにかく水と食料、ガソリンや灯油が全く足りない状況でした。それらを届けながら次に必要な物を聞き取って、ニーズに合わせた物資を手配、購入しながら届ける必要があり、パーティが募金の呼びかけを迅速にやって頂いたことが非常にありがた



かったです。自衛隊が届けてくれる食料もありますが、パンとカップラーメンが何日も続いてしまうので、いろんな種類のレトルト食品や高齢者施設にはおかゆを中心に届けていきます。断水地域ではトイレとお風呂に入れない状態が続くため、簡易トイレであったり、ドライシャンプーや体拭きが非常に喜ばれました。衣類、防寒対策、タオル等、必要な物が出てきました。次第に、炊き出しが始まったところも出てきたり、スーパーが再開するようになって生鮮食品が少ないということで、パーティの仲間が育てた野菜はとても美味しいと好評でした。僕の実家は完全な孤立集落でしたが、自衛隊が来てくれて連絡が取れるようになり、町民全員怪我もなくヘリで救出されたと聞いて一安心。10日には磯部さんたちも新鮮な野菜をたくさん積んで豊田から駆けつけて下さりました。



11日で僕は一旦区切りを付けて愛知に戻りましたが、澤邊さんは1月5日～ほぼ毎日のように能登の中でも門前町や珠洲市等、行き渡っていない地域を中心に支援物資を運び続ける一ヶ月を過ごされていました。

最後に募金に御協力いただきました、関係者、会員の皆様本当にありがとうございました。11日、オンライン勉強会で石川の現状を報告してもらいましたが、全国の皆さんの温かさが伝わってきて、張り詰めていた感情が溢れ、思わず涙。全国に同じ想いを持った協力し合える仲間がいることはとても心強いことで、災害が起きたときこそ、安全安心で美味しい野菜を食べられることがどんなに現地に力をもたらすか実感することができた支援活動でした。野菜を届けて下さった皆様、本当にありがとうございました！能登の復興はまだまだ時間がかかりますが、これからも応援と御協力をお願いします。



自然栽培パーティ最高！
物資班リーダー「世界のサワベ」最高！！

お知らせページ

NEWS 事業の報告

理事会をおこないました

2/28に名古屋で理事会を行いました。今年度の事業の振り返り、および来年度の事業計画について話し合い、次年度の事業内容を決定しました。

新聞の発刊を年4回にします

今年は2か月に一度の発行を目標に新聞制作を行っていましたが、2024年度は3か月に一度の発行にしていきます。引き続き全国各地の情報を発信していきたいと思っていますので、ぜひネタなどお寄せください。また、コラムを書いたり取材をしたいというボランティアスタッフも募集しております！

みんなの畑計画、進んでいます！

自然栽培パーティのみんなで野菜を作って、みんなで分け合う「みんなの畑」プロジェクトが進んでいます。場所は北海道の予定で、今後決まり次第報告していきます。

オンライン勉強会のアーカイブあります。

自然栽培パーティのオンライン勉強会の動画は、録画してYoutubeで限定公開しています。会員限定で視聴できますので、会員に送られるメールまたはSlackをご確認ください。



全国各地のお知らせ

【愛知】自然栽培塾を開講しました。

自然農福の力の今枝さんと、埼玉農福の森田さんが、豊田で自然栽培塾を開講しました！様子はinstagramで@sunsoilsoulで調べてみてくださいね。

【おもや】トマト苗販売しています。

中玉トマトの「ルイ60」の苗を販売しています。生で食べても美味しく、皮もしっかりしているので発送にも向いています。気になる方はおもやまでご連絡ください！

情報募集中！

各地域や施設の取り組みやイベントの情報をお待ちしております。新しくお店をオープンした、農作業イベントを開催する、商品や取り組みが表彰されたなど、みなさんにお知らせしたい情報があれば、事務局までメールでお知らせください。

自然と勝手に

会員交流情報

ハレトケの山根さんが無門福祉会に農福連携を学びに1週間滞在しました。青森県で農福連携の実践を検討しているそうです。



EVENT イベント情報

自然栽培パーティ塾、参加者募集します

自然栽培を本気で学びたい会員向けの「自然栽培パーティ塾」(旧栽培チャレンジ)を開講します。5施設10名を対象に、この一年で全国3か所の圃場で、現地での実際の作業などを通して自然栽培のノウハウを学びます。(詳細は別紙)

今年のフォーラムは11/23に鹿児島で！

一年に一度のパーティの祭典「自然栽培パーティ全国フォーラム」が、今年は鹿児島で！日にちも11/23(土)に決定しています！ぜひこの日はあけておいてくださいね！

鹿児島で勉強会を行います (4/16)

鹿児島の国分ほのぼのの畑にモデル農園を作ります。栽培計画を立て、実際に栽培をし、自然栽培が成功するモデルとして全国フォーラムで発表します。4/16の第一回は、栽培リーダーたちも現地を訪れ、知識とノウハウを元一から畑を作るので、とても勉強になること間違いなし。希望者はどなたでも参加できますので、事務局までメールをしてください。

旬旅参加施設募集中！ (年4回)

今年の旬旅は全4回！従来の「各回ごとに参加申し込みをする」というやり方を改め、「一年を通して出品する予定で参加」する方式にします。地域によっては出品できない時期があるかと思しますので、それは考慮した上で、全回出品する予定で作付け計画をお願いします。第一回の旬旅は6/5出荷です！旬旅に参加して、美味しい自然栽培の野菜を全国に届けましょう！

濃厚ニンジンジュース販売店大募集中！

にんにんニコニコ大作戦！！自然栽培 濃厚ニンジンジュース販売店大募集中！！お問い合わせは大作戦リーダー今枝まで ichikara.6.8@gmail.com



今月のセレクトBOX販売中！



家族で楽しもう
DVDレンタルセット



事務局スタッフが一押しの商品を詰め込んだ今月のセレクトBOX。前回に引き続き、「家族で楽しもう！DVDレンタルセット」も販売します！お家でみんなで映画鑑賞はいかがでしょうか？(1週間/1家族)

4.26発送

野菜セット

3,000円
(税込/送料別)

野菜&DVDレンタルセット

5,000円
(税込/送料別)



自然栽培パーティ事務局

〒470-0376 愛知県豊田市高町東山7-43 jimukyoku@shizensabai-party.com
TEL 0565-45-7883 FAX 0565-45-7886

編集
発行

小さい頃に行った蜂の展示場で、ガラスの巣箱の中に大量にうごめく蜂を見た後にはちみつ飴を食べたせいか、はちみつにちょっと苦手意識がありました。今回沖縄感謝祭をきっかけにソルファコミュニティではちみつを購入。食べてみると水飴のような滑らかなくちどけと、パッションフルーツを思わせる爽やかな香りに、めちゃめちゃ美味しい！はちみつってこんなに美味しかったのか！と感動していました。ほかのパーティの施設でもはちみつを作っているところも多いので、いつかはちみつ食べ比べ会をしてみたいものです。さて、そんなこんなであっという間に2023年度が終わりました。自然栽培パーティも毎年進化の連続だなと思っていますが、みなさんはどうでしょうか？至らぬところもありますが、今年はまだ事業の態勢を充実させながら、もっとみなさんに関わってもらえるようにしていきたいと思っています。ぜひ積極的に関わってもらえると嬉しいです。(事務局相澤)